

# 高橋けいすけ

## 県議会報告

No. 44	自宅/山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2021年10月15日	県議会/県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人/高橋啓介県議会議員	



## ルール無視の 国政を変えよう！

新型コロナウイルスの感染防止に心がけ頑張っている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。大都市を中心に爆発的感染に見舞われるなかで本県の感染状況は、全国的にみても減少傾向にあり、本当に県民一人ひとりの努力の結果であると思います。そして、最前線で頑張っております医療従事者並びに関係者、そしてご家族の皆様のご尽力に改めてお礼を申し上げます。

### 国民の生命や暮らしは守られるか

皆保険の日本で医療行為も受けられず、大都市を中心に自宅療養中に尊い命を奪われた行為は、人災といっても過言ではないと思います。ましてや、野党が要求した臨時国会も開かず、総裁選が繰り広げられました。岸田代議士が次期総理に決まったものの、総裁選の公約に新型コロナ政策が掲げられましたが、何故総裁選前に政権に反映させる努力をしなかったのでしょうか。真に国民の生命や暮らしを考えていたのであれば政権与党として政策を生かすべきでは



9.21 安保関連法（いわゆる戦争法）廃止を求めたデモ

なかったでしょうか。更に、岸田総理は「国民の声が届いていない。民主主義の危機だ」と…語りかけておりますが、そのことを言うのであれば安倍政権と菅政権の立憲主義否定の反省があって然るべきと考えます。しかし残念ながら、組閣人事からして流れが変わるとは思われません。

新自由主義によって格差が拡大し、子どもの貧困が叫ばれ、将来不安が増す中で、ルール無視の国政を変える対応が求められていると痛感しております。

### 平山氏が副知事に

これまで課題となっておりました副知事人事が10月4日に上程され、議会最終日に全会一致で可決になりました。

副知事に決まりました平山雅之氏（62）は、一橋大を卒業し昭和58年に県職員になり、商工労働部次長を経て平成29年に商工労働部長を務め、定年退職後の平成31年4月から山形県企業振興公社の理事長を務めておりました。商工分野に精通している方で大きな期待を寄せております。

これからも、新型コロナウイルスの感染防止に心がけ県民の生命と暮らしを守るため努力して参りますので、何卒宜しく願いいたします。



9月  
定例議会

去る9月17日から10月8日まで9月定例議会が開かれました。補正額として新型コロナウイルス対策費等として211億1,200万円が上程され、更に、令和3年産米の概算金の大幅下落を受け、緊急対策として、1億400万円が追加され、今年度の累計予算額は7,163億4,400万円となりました。最終日に補正予算並びに人事案の全ての案件が可決されました。

## 新型コロナ対策費等として「211億1,200万円」を上程

飲食関連  
事業者への  
家賃等支援

雇用助成金  
延長

デジタル化  
対応支援

地域活性化  
GoToEat  
キャンペーン

米農業  
支援

この度の補正は、新型コロナウイルス感染症への対応として5,836百万円。その内訳は、飲食関連事業者（飲食業・飲食料品卸売業・運送代行業）への家賃等の支援724百万円で、今年7～9月の売上額が昨年と一昨年のいずれかの同月比で50%以上減の場合、法人40万円、個人事業主20万円を上限に補助。雇用調整助成金の延長に伴う助成金利用に向けた支援として303百万円。中小企業・小規模事業者や組合等が行うデジタル化対応への支援309百万円では、テレワーク環境整備やキャッシュレス機器導入など対象に上限額100万～200万円の補助を行う。地域交通事業者（バス・タクシー）への支援として167百万円。飲食店が行うテイクアウト・デリバリー等の新サービス展開への支援として149百万円。料亭や舞子文化の維持継承等の支援として34百万円。就労継続B型事業所を利用する方への支援金の給付として18百万円。

また、地域経済活性化への対応策として、「やまがた Go To Eat キャンペーン」の期間延長への対応として59百万円。住宅リフォーム支援の拡充として44百万円。学校給食への県産水産物の無償提供として16百万円。更に県民生活への支援として生活福祉資金の特例貸付期間延長への対応として386百万円。解雇・雇止めされた方への応援金の給付として51百万円。感染拡大防止へのワクチン接種の促進として1,862百万円。酸素ステーションの設置（内陸・庄内）として589百万円。県立高等学校・特別支援学校高等部における一人一台端末の整備として730百万円を計上。

その他、今年4月から6月までの凍霜害・電



▲9/30原田県議と共に農業支援策を知事に要望

害に対する緊急対策として357百万円。出産支援給付金の対象期間拡大として280百万円等が計上されました。

また、令和3年産米の概算金の大幅下落を受け、米農家に対する無利子融資と新米の販売促進。併せて、危機的状況に直面している観光業界支援のため、新米を活用した観光需要喚起キャンペーン等の支援を行う予算が計上されました。

## 高橋啓介活動記録 2021

9/3  
臨時国会の  
開会を求めて  
山形市役所前で  
座り込み



# 酸素ステーション 設置事業

都会を中心に医療行為も受けられず、自宅でお亡くなりになる方が出ており、そのような状況を踏まえ、この度の議会に酸素ステーション設置を内陸と庄内の2カ所に置くこととしました。

感染が明らかになった場合、入院が基本になりますが、病床が逼迫した場合に、県民が安心して療養できる体制を確保するため、医師により「酸素吸入及び入院」が必要と判断されたものの、直ちに入院先が決まらない方を対象にしております。

場所は確定しておりませんが、医療機関や体育館・会議室等を想定し、ベッド数は一カ所15床程度としており、病床の逼迫が想定される段階で対応する事となります。



酸素ステーション事業イメージ

## 時給822円 過去最大の引き上げ

今年の10月から適用されている最低賃金について、山形労働局の審議会は、過去最大となる29円の引き上げを行い、時給822円の改正を山形労働局に答申しました。最低賃金は、パートやアルバイトを含むすべての労働者に雇用主が最低限支払わなければならない賃金で、山形県はこれまで、全国平均を109円下回る時給793円となっていました。労働組合や経済団体の代表などをつくる審議会は、29円引き上げ、822円とするよう山形労働局に答申しました。

労働局によりますと、この度の改定は金額・率ともこれまでで最も大きいということで、10月2日から適用されております。



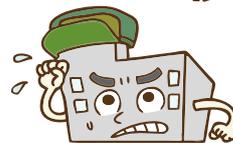
## 最低賃金の請願は 継続審議

働く人々が加盟しています連合労働組合から毎年のように、県内における「最低賃金引き上げ」の請願が行われていますが、残念ながら自民党会派の皆さんの賛同が得られず可決とならず、継続審議の扱いとなり、最終的には取り下げになっています。確かに、本県は中小零細企業の比率が99.8%と高く、最低賃金を引き上げる事によって経営に与える影響があることも確かと言えます。



一方、政府にあっては早い時期に「自給千円を目指す」と国民に約束しており、その事を踏まれば中小零細企業に対する国の支援制度がセットでなければならないと考えます。日本の産業構造からして、中小零細企業があって全産業が成り立っている訳ですから支援制度を求めることは当然のことではないでしょうか。是非、そんな社会を作るため努力して参りたいと思っております。

### 中小企業



年

9/25 海外に送る支援米の稲刈りを労農市民会議の皆さんと!

# 道路の渋滞解消策 について



閉会中の建設常任委員会で、渋滞解消策について質問しました。これまで交差点改良や4車線化そして、東北自動車道の開通によって令和2年度の県内の渋滞箇所は102箇所となっております。

今年度は、R112江俣交差点の右折車線延長の計画を予定しておりますが、同様の渋滞箇所が市内に点在しており、スピード感をもって進めて頂くよう要請いたしました。



去る9月15日に、私学関係者と一緒に高校授業料の無償化に向けて吉村知事に要請を行いました。毎年2回に亘って、生徒の皆さんや保護者の方々が集めた署名やハガキを持参しております。吉村知事から、毎年改善策を示して頂き、学校現場からは「経済面で退学する生徒がいなくなった」報告を受け本当に良かったと思っております。

## 高校の授業料 無償化の要請



国におきましては、高校授業料の無償化がスタートしましたが所得制限により県内では4割弱の方がその恩恵を受けられない現状にあります。そこで、今年の知事選の前段に「高校授業料無償化」について話しを行い、知事から公約として取り組んで頂くことになりました。これからも無償化に向け関係者の皆さんと一緒に取り組んで参ります。

### 一日も早いコロナの収束を

所属委員会：建設委員会（委員）、活力ある地域づくり対策特別委員会（委員）



 皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com> 県議 高橋啓介 検索 

